

第6回佐久市都市計画審議会（要約）

・開催日時：平成28年10月20日（木）

午後1時30分～3時20分

・開催場所：佐久市役所南棟3階 大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）議事録署名人の指名

（2）事務報告

①傍聴者報告

②前回（第5回）議案の処理状況等報告

（3）調査審議

①立地適正化計画に係る誘導区域及び誘導施策の基本的な考え方について

事務局より説明

質疑・意見等

（委員）

これは規制行政でなく誘導行政なので、規制を伴わないものだと思う。素晴らしい案だと思うし、この計画通りに行けば佐久市の発展について非常に期待が持てますが、実際問題として、実施主体はどなたになりますか。民間なのか行政なのかわかりませんが、そこと一緒になっていかないと、絵に描いた餅になってしまう。民間については、経済情勢の関係もありますから、非常に投資については、慎重になっていると思う。投資しても集客がいきなりすぐ撤退してしまう。

（事務局）

長い年月の中でゆるやかな誘導をお願いしたいということで、誘導施設を設定したうえで、アメとムチのアメの方で誘導していく。ムチは特にないという制度でございます。想定している誘導施設は、民間・公共の両方ございまして、特に民間に対しては、一定の優遇なども検討しています。この制度自体、その施設が維持できるように、その周辺には人が住むような形として、一定の集約を図ることによって、お互いの利便性を保ちたい、お互いのメリットを享受したいと

ということでございます。この先ずっとそういったことが保たれるかということと心配事ではございますが、理念とするとそういった方向でございます。

②都市計画マスタープラン策定方針

事務局より説明

質疑・意見等

(委員)

立地適正化の質問ですが、居住誘導区域はこれから家を建てる人や佐久市に住む方に対して示していくものですか。住んでいる人に対してですか。

(事務局)

今、佐久市に住んでいる方、佐久市以外に住んでいる方どなたに関らずということになります。どこからどこに移動してくださいというような具体的な考え方はございません。何かのきっかけで新築される、あるいはそういったことの中で利便性が高いところに住んでいただく動機づけになるような政策ということで、立地適正化計画を出させていただきます。

(委員)

若い人から考えると、コンビニやスーパーが近いことは大事だと思いますが、家を買ったり、アパートを借りる際に、小学校の位置が近いというのも、すごく重要でよく考えることなので、今のエリアを見ると小学校が離れているところが目立ち、臼田なんかは小学校が遠くなってしまいう気がします。そうすると、若い人にとっては、あまり誘導区域は魅力的ではなくなってしまうのではないかと思います。それについてはいかがですか。

(事務局)

特に臼田については、最近、統合小学校ということで、候補地が決まったとうことでございます。確かに、学校のそばというのは、居住する大きなファクターの1つであると認識しております。

一方で、小学校は各地域に分散してる状況にございまして、臼田とは状況は異なりますが、拠点と言われる場所が、集落部にもございまして、春日や平賀など、分散している場所ごとになければいけないというわけではありませんが、誘導施設として位置づけることは今回避けた状況もございまして、中学もそういった状況もございまして。

臼田につきましては、私どもの想定している誘導する考え方と違ってしまった部分がございますが、地域の皆さんとのコンセンサスの中で今の場所が決まったというところがありまして、そういったことも考慮しましてもう1度考えさせていただきたいと思っております。

(委員)

全般的な話ですが、こういうものは机上で作ることは簡単で、どこの市町村を見ても似たか寄ったかになるが、実行はなかなか難しい時代になってきていると思います。

どうすればいいかという、地域住民と行政が力を合わせないとできない問題で、長野県が一番遅れていますので、野沢北を中高一貫教育にするなどしないと地域の発展は望めないと思います。もう少し教育レベルを上げるように努力していかなければならない。

もう1つは、産業の力を佐久市も本気になってやってもらいたい。

この間、総合計画の説明会をしているが、私も行ったら、来ている人はほとんど市の職員。質問も一切なし。まちの人はやっていることを知らないみんな言う。アンケート調査や説明会を行ったというが、民意をとるのは非常に難しい時代になっている。

ただやっただけにならないように住民みんなに知らしめて、みんなの力で佐久市を作っていかなければいけないと思います。私みたいな高齢者は、パソコンで出すのが困難。佐久市のホームページは非常に見にくい。佐久市の行政の知らしめ方を検討してもらい、みんながわかりやすいまちづくりをしていくことを心掛けてもらえればありがたいと思います。

(事務局)

教育、産業など色々な面でご意見をいただきまして、説明会に佐久市民の参加が少ないことについては、私どもも感じておりまして、広報などに載せてお知らせしているが、見ていただけなかったり、お忙しいということで来ていただけられないという状況もございます。また、いろいろ工夫しながら見ていただくよう課題として承らせていただきます。

(委員)

佐久市の健康長寿まちづくりというのはやめた方がいいと思います。子供を産み育てるキャッチフレーズにして、浅間病院とかに力をいれて、もっと産めるような体制にした方がいい。若い人を大事にするような施策にした方がいい。

(事務局)

ご意見として承らせていただきます。

(委員)

長野県建築士会を代表して来ているものですが、先日、建築士会で説明会を開いていただきましたが、諸団体の中でこの問題に一番近い位置にいるのが建築士会だと思います。都市計画とかまちづくりに関わっている者はそんなにいませんから。

その時にいくつか質問が出ましたが、建築士会みたいな会でも、この話を聞いたときに、結局、自分のことでしか考えられない。いずれは施策で20年30年後を見据えて誘導していくことだと思いますが、その場所でライフラインを維持していくわけではなくて、緩やかに説明のあった場所に移っていくということを誘導していかないと、自治体自身も税収が減り、維持できないことが前提になると思います。

ただ、それを説明されても、賛成か反対か判断しづらいところありますが、非常に難しく高度な専門的知識が要求されることでもあります。建築士会でも、移住したら自分の田んぼの維持は

どうなるのかというような質問しかでないわけですが、私はこれを見て反対するところはなく、むしろこれしかないだろうと思いますし、20年後までにどういう施策をきめ細かにやっていくかということで、皆さんが満足するものがこれから出てくるのではないかと思います。そういう視点で見るのが重要なのではないかと個人的には思います。

(事務局)

区域や誘導施設は未来永劫このままということではなく、その時の状況で変わるものという認識がありますので、その時代を踏まえた修正を行っていきたいと考えています。

(委員)

今、総合計画と足並みをそろえていると思いますが、市民が説明会等に来ないという話がありましたが、市民が無関心で聞く耳を持たないと解釈しています。本当は興味があったり、将来を考えていれば、来るとは思いますが、そこをどう行政が来るようにしていくかだと思います。

(4) その他

次回の審議会の予定について

4 閉会